



柳沢中学校通信

朱雀の翼

のびる学校 つながる学校 元気がでる学校

西東京市立柳沢中学校
校長 浅野 周子
電話番号 042-463-5014
FAX番号 042-462-3104
令和8年9月29日 第5号



9月のテーマは

あいさつ
挨拶

『今年度の柳沢中学校は、1組が加わって、「のびる学校、つながる学校、元気がでる学校」を合言葉に、NEW 柳沢中学校をつくってってもらっています。2学期も、引き続き、みんなが居心地のよい学校、「のびる学校」＝自分の成長、クラスの成長、学年の成長、学校としての成長に期待しています。』という話を始業式でしてから早いもので4週間がたちました。

この4週間は、大きな行事がいくつもあり、なかなか濃い日々だったのではないのでしょうか。

2学期、どのような自分になりたいか、そのためには、どのように行動していったらよいか、と話しましたが、覚えていますか？

本当は、もっと先のことをイメージしてほしいと思っています。

将来的には、自分は、どんな人になりたいのか？
どんな仕事をしたいのか、だけではありません。どんな生き方をしたいのか。自分自身に問いかけて、対話してみてください。自分が歩く人生ですから。

身近な人たち、ちょっと知っている人、著名人でもいいと思う人がいるとイメージしやすいですね。

2学期が終わる頃、クリスマスの頃には、今の自分より変化がある自分に会えるといいですね。



先日、生徒会役員選挙に向けて立ち合い演説会が行われました。立候補者や応援者の演説を聞き、一人ひとりが「こんな学校にしたい」「学校をもっとよくしたい」という熱い思いを、自分の言葉で堂々と伝えている姿を大変頼もしく感じました。自分自身のことだけではなく、柳沢中生や学校全体のことを考え、「自分たちの手で最高の学校をつくっていかう」とする姿勢がびんびん伝わってきました。

生徒会選挙は、単に代表を選ぶための行事ではありません。自分たちの学校生活をよりよくするために、「どんな学校にしたいのか」「そのために誰に何を託すのか」「自分には何ができるのか」を考える、大切な機会になります。

そして、こうした経験は、皆さんが将来、社会の中で生きていく＝「社会参画」にもつながっていきます。それは、自分たちが暮らす社会をよりよくするために、自分にできることは何かを考えたり行動したりしていくことです。

数年後、18歳になり、選挙権を得たときに、社会のことを考えて一票を投じる。

今回、勇気を出して立候補し、自分の考えを伝えた人と、演説を真剣に聞き、立候補者の考えを受け止め、自分の一票を投じた人。そのすべてが、よりよい学校をつくるための大切な一歩となるのです。

「よりよくしたい」「自分は何かできるのか」という思いが、学校を変え、やがて社会をよりよいものに変えていく原動力になっていきます。

未来の社会を創るのは、今を生きる若者＝皆さんであることが伝わる機会になったらよいと思います。



9月24日
生徒会選挙立会
演説会の様子

今年度の取組である
私語厳禁が守られて
います。



安全教育の日 9月12日

自他の安全のために主体的に行動する生徒の育成を目指して実施した「柳沢あんぜんの日」の取組。今年度は、9つの体験プログラム・講習会の他に田無警察署及びスーパードライバーズのスタントマンによる「自転車安全教室」も開講しました。

西東京市危機管理課をはじめ、日本赤十字社、西東京レスキューバードなど様々な事業所によるプログラムを受講した柳沢中生が、地域防災を意識し、万が一の時には、地域に貢献する人が多く出現してくれることを期待しています。



職場体験 9月17日—18日

未来の自分に出会う場所

今年度は、38箇所の事業所にご協力をいただき、職場体験を実施いたしました。学校生活から離れ、社会の第一線で働く大人たちの仲間入りをする貴重な体験です。普段は「お客さん」や「生徒」として接しているお店や施設、企業に、「働く側」として足を踏み入れたわけですが、思った以上に挨拶や返事が大切だと気づいたり、立ち仕事の厳しさに驚いたり、あるいは自分の手掛けた仕事で誰かが笑顔になってくれた喜びに感動したりしたのではないのでしょうか。

この体験は、単なる「職業の体験」にとどまらず、社会に出て求められる力や働くことの厳しさとやりがいを感じる「キャリア教育」の大切な一歩となります。社会人が、どのような思いで責任をもち、社会と繋がっているのかを間近で見ることは、中学生自身が「将来どんな大人になりたいか」「どう生きたいか」を考えるヒントにもなることでしょう。

うまくいかずに悔しい思いをする場面もあったか

しれません。一步踏み出すために勇気を出した場面もあったことでしょう。

現場でしか学べない「生きた学び」を少しでも吸収できたらと願います。今年度もご協力いただきました事業所の皆様に感謝申し上げます。



川越校外学習 9月17日

自分たちの手で創る「未来への旅」

歴史の面影が色濃く残る「小江戸」川越。今回の校外学習で1年生とI組に課されたミッションは、班の人たちと一緒に「自分たちの力でこの街を巡り、川越についての知識・体験を深める」ということです。

先生たちの指示を待つのではなく、班で計画を立て、時間を管理し、判断しながら行動する➡入学してから様々な経験がどれくらい身に付いたか試される一日となりました。

川越校外学習のスローガン「小江戸 de★ときも！」に込められた思いを大切に、一人ひとりが意識を高くもって取り組むことができたでしょうか。

川越校外学習は、来年予定されている「都内巡り」、そしてその先にある「修学旅行」へと繋がる、かけがえのないステップです。集大成となる大きな旅を成功させるための基礎力やチームワークは、突然身に付くものではありません。小さな成功体験や、ときには「道に迷った」「予定通りにいかなかった」「どうしたらいい？」という課題を仲間と乗り越えることで少しずつ育まれていきます。

川越の街で出会ったさまざまな場面こそが、皆さんを大きく成長させる学びの場となったことでしょう。

柳沢駅での帰着チェックは、全班が時間通りで、小江戸の風情を楽しんできたことが伺える姿を嬉しく感じました。



自分の歯を一生の宝ものに 9月8日

1年生とI組を対象に歯科講話を実施しました。厚生労働省などが推進している「8020運動」を推進し、「80歳になっても自分の歯を20本以上保とう」という目標をもちましょう。20本以上の歯があれば、自分の歯でしっかり噛み、食感から美味しく食事を楽しむことができると言われています。

中学生は、永久歯が出そろい、一生使う歯の土台が完成する大切な年頃です。毎日の正しい歯みがきはもちろん、だらだら食べを避け、定期的な歯科検診など、日頃の予防とケアをしましょう。

80歳になったときも健康で笑顔でいられるよう、今日から自分の歯を大切にする習慣を身に付けていきましょう！

